

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お客様	お名前	電話番号	-	-
	様			
	ご住所 〒			
型式	DR-502	販売元社名		®
ご購入日	年 月 日	住所 〒		
保証期間	ご購入日より1年間	電話番号	-	-

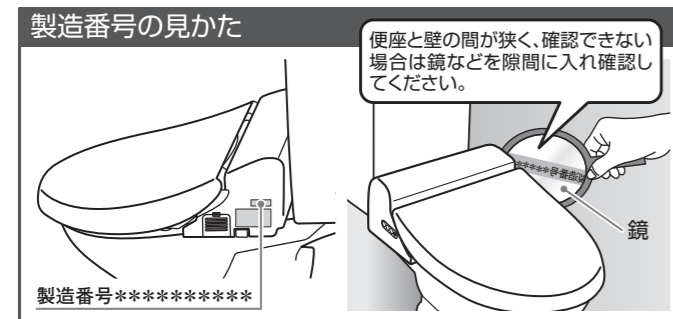
<無料修理規定>

- 取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- この商品は出張修理させていただきますので、出張修理に際して本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - 維持管理の不備や取扱説明書に記載している警告・注意事項および内容を守らず使用された場合の故障および損傷
 - お買い上げ後の取付け・取付場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
 - 車両・船舶などでの使用による故障および損傷
 - 専門業者以外の修理・分解・改造などによる故障および損傷
 - 当社の手配によらない第三者による組立上の不注意・過失による故障および損傷
 - 消耗部品の消耗による故障および損傷
 - 消耗部品の取替えおよび保守などの費用
 - 経年変化による変色・キズ・カビの発生・汚れの固着・摩耗・劣化・使用に伴う外観変化
 - 砂・ゴミかみによる故障および損傷
 - 指定規格以外の電源(電圧・周波数)・水圧などによる故障および損傷
 - 火災・爆発などの事故・地震・水害・落雷・凍害などの天災地変・公害・ガス害(硫化水素ガス・塩素ガスなど)・塩害による故障および損傷
 - 動物や虫などによる故障および損傷、またその死骸の製品内残留による故障および損傷
 - 温泉水・井戸水など、水道関連法令に定める飲料用水水質基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷
 - 製品の凍結による故障および損傷
 - 購入時、実用化されていた技術では予防することが不可能な事象、またこれらが原因で生じた事故による故障および損傷
 - 製品に接続している他の機器が原因で生じた故障および損傷
 - キズなど、外観の不具合で購入時に申し出がなかったもの
 - 保証期間経過後に申し出があった、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書に必要事項の記入がない場合、また字句が書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※修理を依頼される前に、P.39・40の「故障かな?と思ったら」を確認してください。

<ご連絡いただきたい内容>

- お客様のお名前・ご住所・電話番号 ●型式「DR-502」 ●製造番号 ●故障の状況(できるだけ具体的に)



〈製造元〉
株式会社Deto
〒500-8844
岐阜県岐阜市吉野町6-14大樹生命岐阜駅前ビル7階
Detoコールセンター
0120-571-131
【受付時間】9:00~18:00(土日祝を除く)

201910.1



温水洗浄便座

型式 DR-502

取扱説明書

施工説明書付 保証書付

本製品は、リフォーム構造により、お客様ご自身で部品を一部交換(有償)することが可能で、きれいな状態を保つことが出来ます。→P.43・44

貯湯式で2012年度省エネ基準達成率122%



かんたん使いこなしマニュアル

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お手入れ方法や操作方法をわかりやすくご説明させていただいております。
- ご使用前に「安全上のご注意 →P.1~4」を、必ずお読みください。
- 保証書は、本書「裏表紙」についております。ご購入日などの記入を確かめ大切に保管してください。
- 写真やイラストは説明用のため、実際とは多少異なります。

お問い合わせの多い項目

ご説明ページ

- 温水・便座の温度が低い(冷たい) 23
- おしり・ビデ洗浄が使えない(ノズルが出ない) 19
- 洗浄が途中で止まる 4
- リモコンのランプが消えている 19
- 以前使用していたものより洗浄の勢いが弱い 22
- 座った時に便座からきしみ音がする 19

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名称	5
取付方法(施工説明書)	7
ID設定	17
基本操作 洗浄する	19
調節する 快適にご利用いただくために	21
その他の機能	25
電池交換の方法	27
お手入れ・掃除の方法	29
凍結予防・長期間使用しないとき	37
故障かな?と思ったら (よくあるお問い合わせ)	39
交換部品	41
仕様	43
重大事故防止のためお願い	44
保証書	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しくご使用ください。

警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

注意 傷害や物的損害が発生するおそれがある内容です。

してはいけない禁止の内容です。

実行しなければならない強制の内容です。

安全上のご注意

警告

火災・感電のおそれ

本体や電源プラグに水や洗剤などをかけない
(感電・ショートによる火災の原因)

たばこなどの火気類を近づけない
(火災の原因)

禁止

- 電源コード・電源プラグは傷つけたり破損させない
(無理に曲げる・ねじる・引っばる・加熱する・加工する・重い物を載せる・束ねるなど)
- 損傷した電源コード・電源プラグは使用しない
- 電源プラグの抜き差しは、濡れた手でしない

電源コードや電源プラグは正しく使用する
(火災・感電の原因)

- 指定のコンセント(定格15A・交流100V)を単独で使用する
- 電源プラグは根元までしっかり差し込む
- 電源プラグの抜き差しは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って行う
- トラッキング現象*防止のため、電源プラグのほこり、汚れなどは定期的に掃除する

実行する

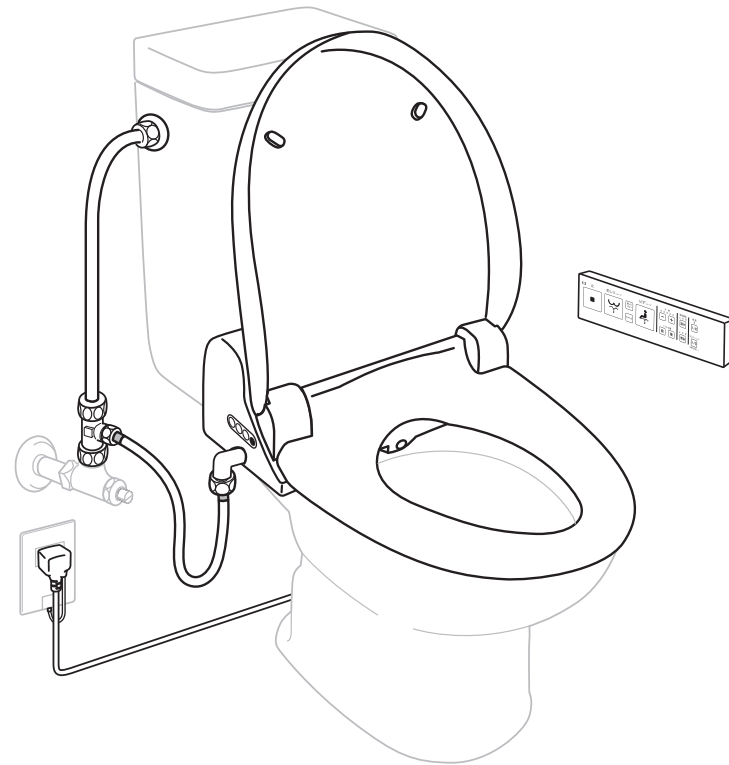
※トラッキング現象
電源プラグにたまったほこりと湿気により、微小電流が流れ、そのまま使用し続けると、ショートし発火する現象です。

- ノズル以外のお手入れ・掃除のときは電源プラグを抜く

アース工事をする [アース線接続例]

(漏電時の感電の原因)

- D種接地工事をする
- コンセントのアース端子にアース線を取り付ける



故障したままでは使用しない
(火災・感電・ケガ・室内浸水の原因)

- 異常・故障時には電源プラグを抜き、止水栓を閉め、直ちに使用を中止する

禁止

下記項目に当てはまる場合はすぐに販売元に連絡してください。→裏表紙

配管接続部や本体内部で水漏れしている・本体にひび割れや破損がある・異音(脱臭ファンや作動時の音を除く)や異臭(こげ臭)がする・電源プラグや電源コードが異常に熱くなっている・電源コードを動かすと、電源が切れたり、入ったりする・発煙しているなど

安全上のご注意

警告

お手入れの際は…

水を抜くときや本体を立てる時は必ず電源プラグを抜く
(感電・火災の原因)

実行する

隙間のお手入れの際には針金などの金属を使用しない
(感電・ショートによる火災の原因)

禁止

低温やけどのおそれ

低温やけどを予防する

便座に長時間皮膚が触れていると、低温やけどの原因になります。特に以下のような方が使用される場合は、まわりの方が温度調節などに注意してください。

実行する

お子様・高齢者・皮膚の弱い方・皮膚感覚の弱い方・自分で温度調節が困難な方・眠気を誘う薬(風邪薬・睡眠薬など)を服用された方・深酒の方・疲労の激しい方・特に高齢者や介護が必要な方などのご使用には注意してください。

実行する

身体への著しい障害を予防する

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、ご使用前に必ず医師に相談してください。

電池の使い方について

電池は間違った使い方をしない
(取り扱いを誤ると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災・周囲の汚損の原因)

- 火の中に入れてたり、加熱・改造しない
- 「+」と「-」を針金などの金属類で接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しない
- 「+」と「-」を逆向きに入れない
- 違う種類の電池や新しい電池、古い電池を混用しない
- 被覆(外装ラベル)のはがれた電池は使用しない
- 液漏れした電池は使用しない
- 充電式の電池は使用しない
- 乾電池は充電しない
- 乳幼児やお子様の手の届くところに置かない

禁止

電池には安全のため被覆(外装ラベル)をかぶせています。これをはがすと感電やショートして火災の原因となりますので、絶対にはがさないでください。

実行する

電池を使いきったらすぐにリモコンから取り出す
(そのままリモコン内に放置すると液漏れ・発熱・破裂の原因)

実行する

電池の液が漏れたときは液に直接触れないようにし、以下の処置を行う

- 液が目に入ったときは、失明などの障害のおそれがあります。目をこすらずに、大量のきれいな水で洗ったあと、すぐに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、皮膚の障害を起こすおそれがあります。大量のきれいな水で洗ったあと、すぐに医師の治療を受けてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

安全上のご注意

⚠ 注意

水漏れによる室内浸水のおそれ

水漏れが発生したときは
止水栓を閉める
(室内浸水の原因)

販売元に連絡してください。→裏表紙

水抜き栓を緩めるときは
必ず止水栓を閉める
(水漏れの原因)

閉める [本体裏面]

水抜き栓を緩め排水した後は、
必ず水抜き栓を閉める
(水漏れの原因)

閉める [本体裏面]

凍結による破損を予防する
(配管や本体内部が破損して水漏れの原因)

外気温が0℃以下になるときは、
水抜きや凍結しないよう
暖房してください。

凍結予防の方法
→P.40



給水ホースを曲げたり、つぶしたり、
刃物などで傷つけたりしない
(水漏れの原因)

禁止

給水ホースを引っぱったり
無理な力を加えない
(分岐金具のナットや
接続部がゆるんで
水漏れの原因)

禁止

【こんなときは・・・】

●洗浄が途中で止まる

⚠ 注意

ケガなどのおそれ

便座・便ふたを持って
本体を持ち上げない
(ケガをする原因)

● 便ふたに寄りかからない
● 乗ったり強い衝撃を加えない
(転倒したり割れてケガをする原因)

禁止

便座・便ふたを
勢よく閉じない
(破損によりケガをする原因)

本体がガタついた状態で使用しない
(転倒してケガをする原因)

おしり・ビデ洗浄は長時間使用しない
長時間の洗浄に注意してください。
常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩
れる可能性があります。
局所の治療・医療行為を受けている方は、ご使用の前
に医師に相談してください。

長時間の洗浄防止のために、おしり・ビデ洗浄は
約2分で自動停止します。

落雷のおそれがあるときは
電源プラグを抜く
(火災・感電の原因)

実行する

長期間使用しないときは・・・

長期間使用しないときは、
電源プラグを抜き、止水栓を閉め、
水抜きをする
(火災・発熱の原因)
(ホースや本体内部に残った水が
腐敗して皮膚の炎症などの原因)

実行する

閉める [本体裏面]

水抜きの方法 →P.37

お掃除のときは・・・

お掃除のときは電源プラグを抜く
(火災・発熱の原因)

実行する

ノズルのお手入れの際には電源プラグを
差したままで行ってください。

お掃除のときは
酸性やアルカリ性の洗剤を使用しない
(便座本体や、内部の金属部分などを腐食させたり
故障の原因)

禁止

酸・アルカリ性
洗剤

研磨剤入り
洗剤

ベンジン
シンナー

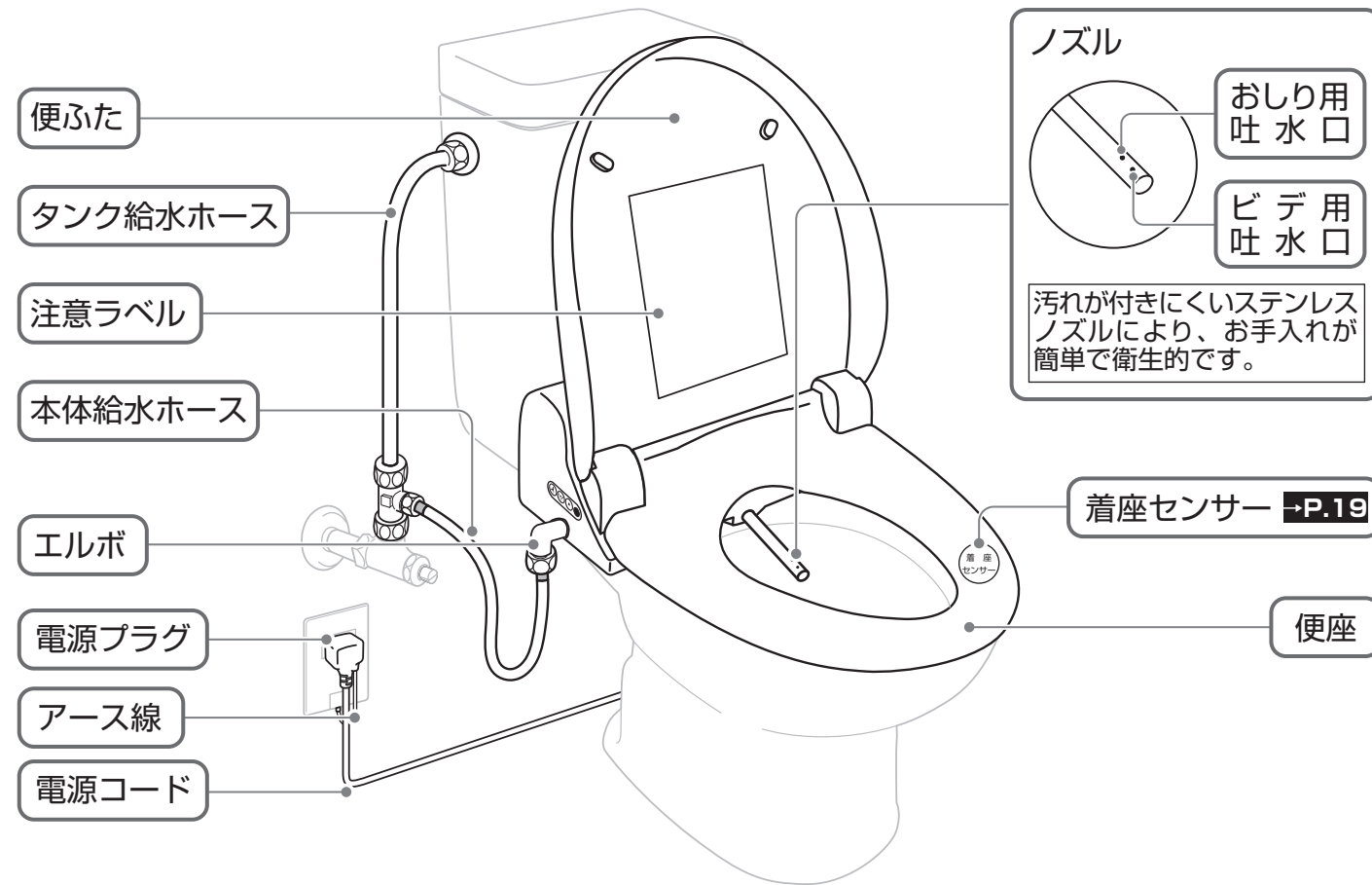
業務用洗剤

安全上のご注意

各部の名称

本体（漏電遮断機能付）

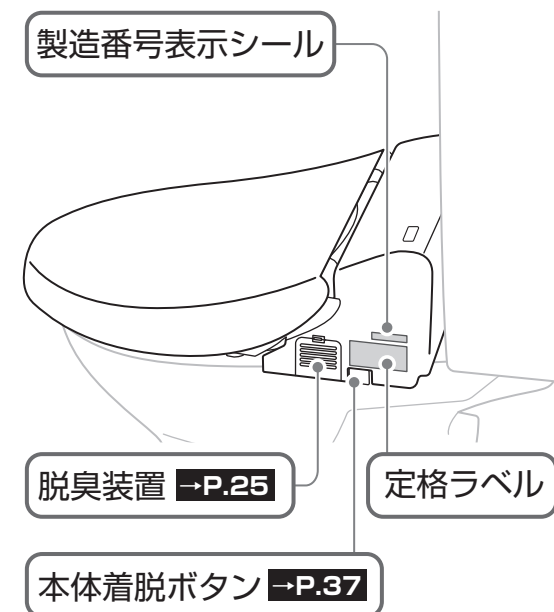
各部の名称



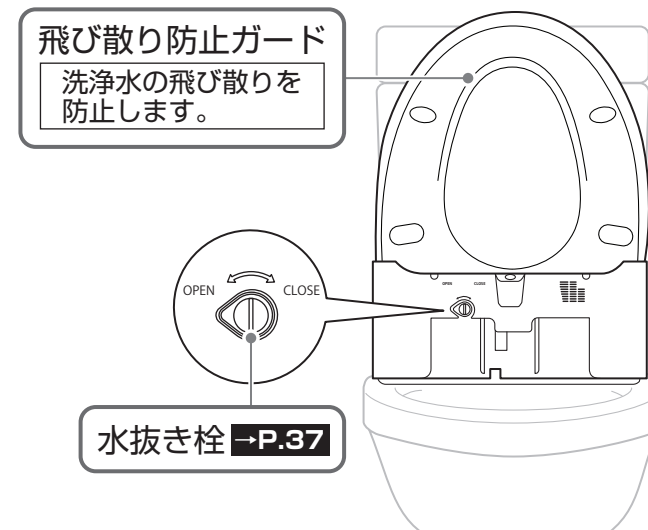
本体（座って右手側）



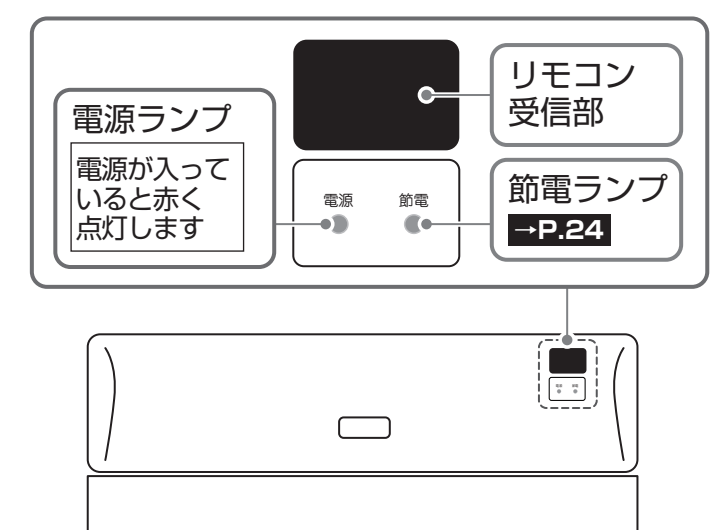
本体（座って左手側）



本体裏面



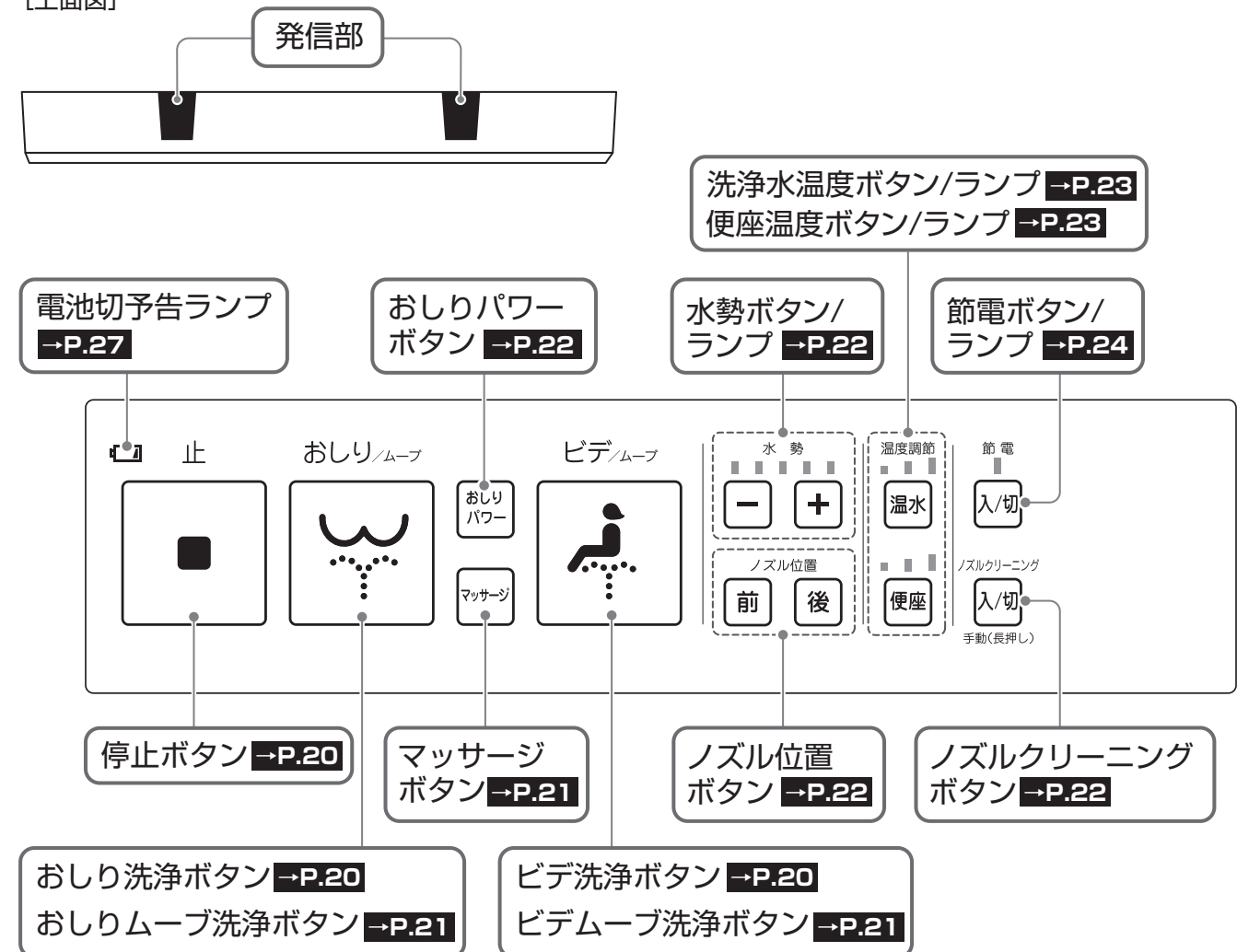
本体上面



各部の名称

リモコン

[上面図]

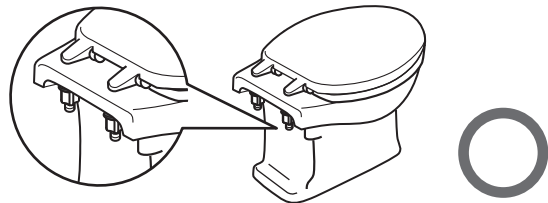


取付方法（施工説明書）

施工前の確認

取り付け可能な便器

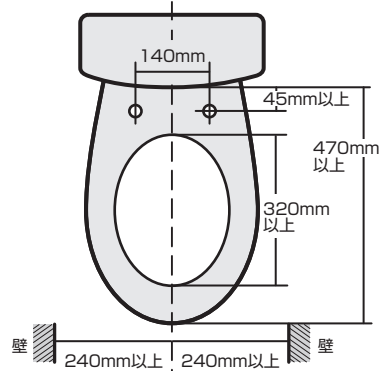
- 下からナット締めができる便器



※小型便器・特殊便器など一部の便器には取り付けられない場合があります。

● 便器サイズ

※右図のサイズに適合するか確認してください。



● コンセント位置

※電源コードの長さは1.2mです。コンセントがこの長さに適した位置に設置してあるか確認してください。



取り付けられない便器

- 下からナット締めができない便器
- 便座一体型便器



※便器の交換が必要です。

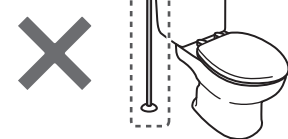
黒っぽい壁の部屋には設置しない

本体およびリモコン周辺の壁・天井が黒っぽいとリモコンから出る信号（赤外線）を吸収してしまい、本体で受信できない場合があります。

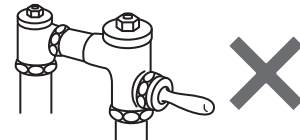


下記の場合は専門業者に工事を依頼してください

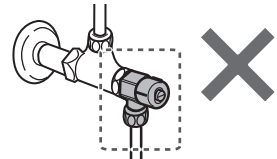
- 止水栓がない



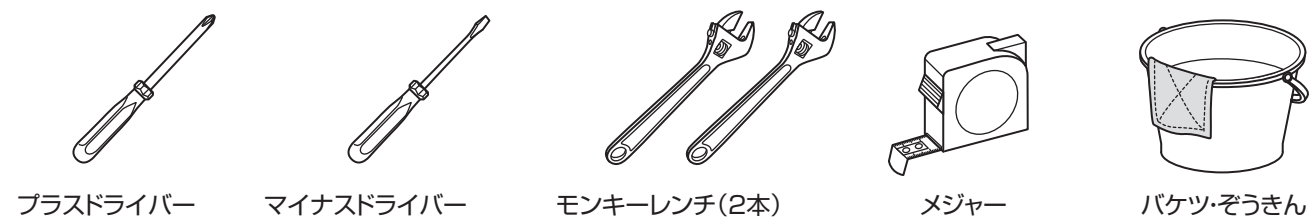
- 下記タイプの止水栓



- フラッシュバルブ



準備する工具



安全上のご注意（施工）

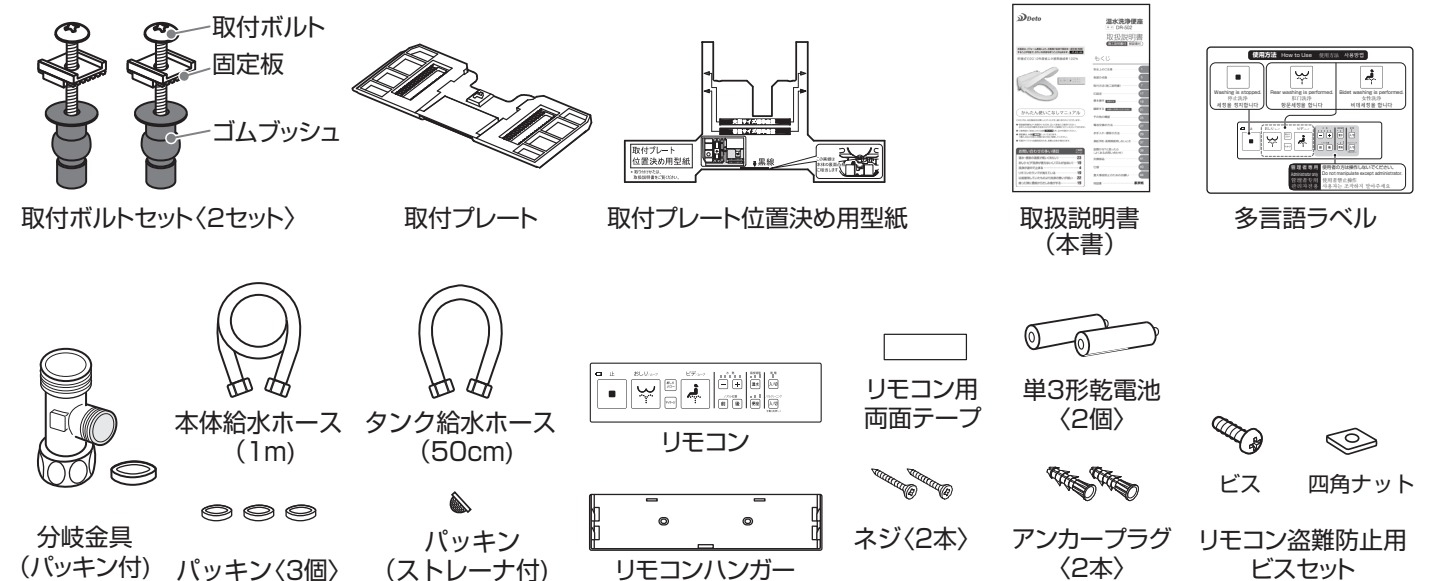
 実行する	取付方法(施工説明書)に従って施工する →P.7~18 (水漏れ・火災・感電の原因) 同梱部品および指定の部品を使用し施工する (水漏れ・火災・感電の原因) 電気工事は内線規程に従って施工する (火災・感電の原因)	バスルームや湿気が多い場所には設置しない (火災・感電の原因)
	車両や船舶などの移動体には設置しない (感電・ショートによる火災の原因)	修理技術者以外の方が分解、修理をしない (感電・発火・異常作動によるケガの原因)
 禁止	日本の上水道以外では使用しない (故障・皮膚の炎症などの原因) 工業用水・井戸水など	取り付けが完了し、止水栓を開けるまで電源プラグを差し込まない (故障の原因)

⚠ 施工前に、安全上のご注意 **→P.1~4** を必ずお読みください。

引越しなどによる移設の際には専門業者に依頼されることをおすすめします。
販売元に相談してください。→裏表紙

- 必ず同梱の部品を使用する
- 使用圧力は0.07～0.75MPaです。
- 製品内に水が残っている場合がありますが故障ではありません。※出荷前の通水検査によるものです。
- 厳寒時は、本体内の残水が凍結している場合があります。暖かい部屋に放置し、解凍してから設置してください。

同梱部品



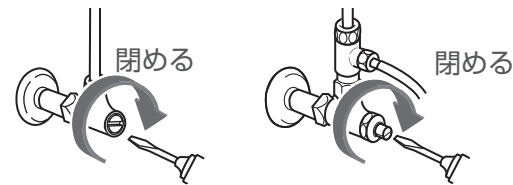
取付方法（施工説明書）

1 止水栓を閉める

1 止水栓を閉める

〔例〕

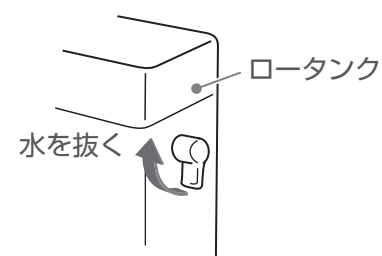
〈マイナス溝タイプ〉



〈ハンドルタイプ〉



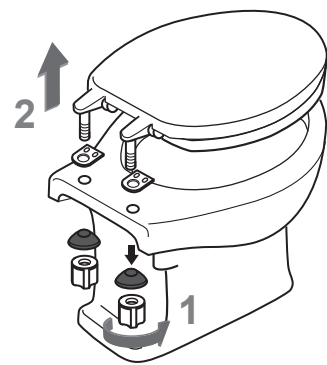
ロータンクの水を抜き、止水栓が閉まっているか確認してください。



2 便座を取り外す

普通便座の場合

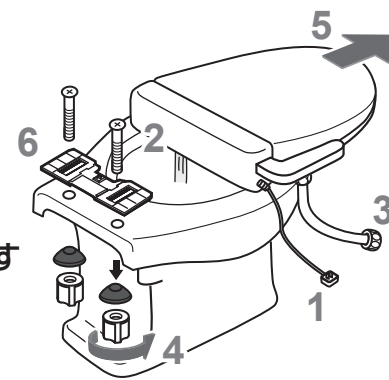
- 1 ナットを緩める
- 2 便座を取り外す



温水洗浄便座・暖房便座の場合

- 1 電源プラグを抜く
- 2 水抜きをする
- 3 本体給水ホースを取り外す
- 4 ナットを緩める
- 5 便座を取り外す
- 6 固定プレートを取り外す

※既設の温水洗浄便座・暖房便座の施工説明書に従い取り外してください。

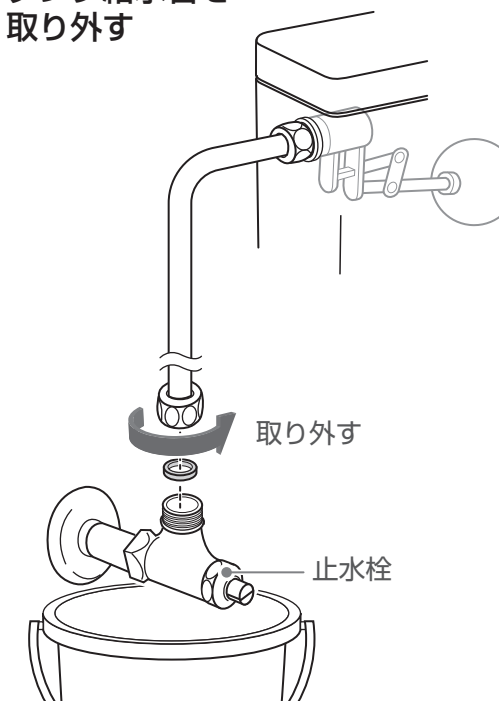


- ナットがさびて緩まないときは
- 市販のねじ緩め剤などで緩める
 - 取れないときは、金のこでボルトを切断する

3 給水管・分岐金具を取り外す

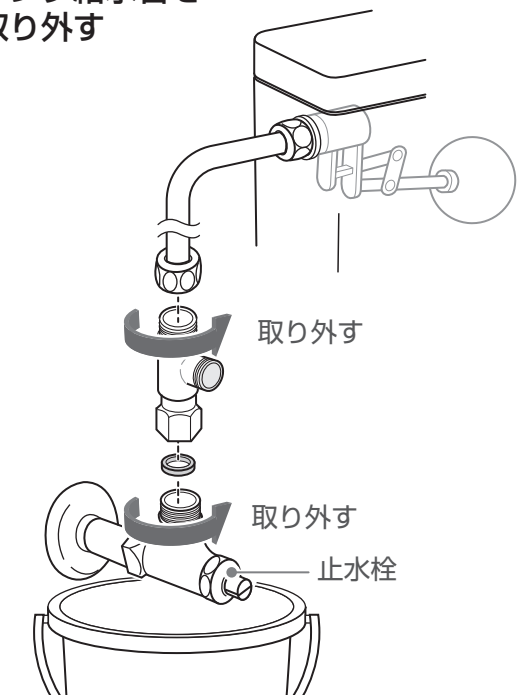
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

- 1 止水栓からタンク給水管を取り外す



既設の温水洗浄便座から取り替える場合

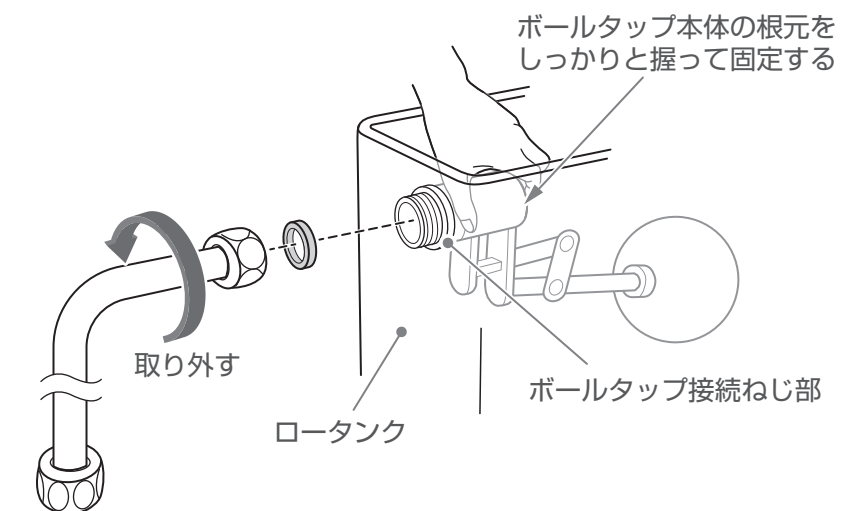
- 1 止水栓から分岐金具とタンク給水管を取り外す



給水管などに水が残っていることがありますので、止水栓の下にバケツなどの容器を置いてください。

- 2 ロータンクからタンク給水管を取り外す

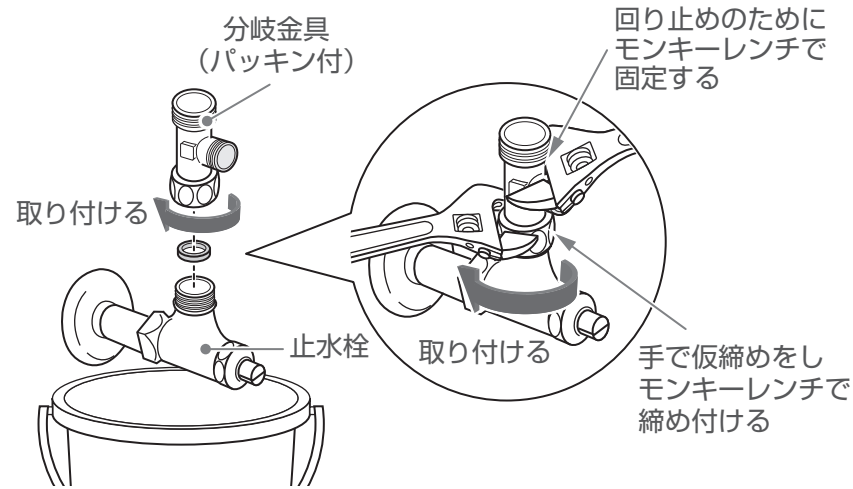
※ロータンクのフタを開け、ボールタップ接続ねじ部は回さないように、内部のボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。



取付方法（施工説明書）

4 分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける

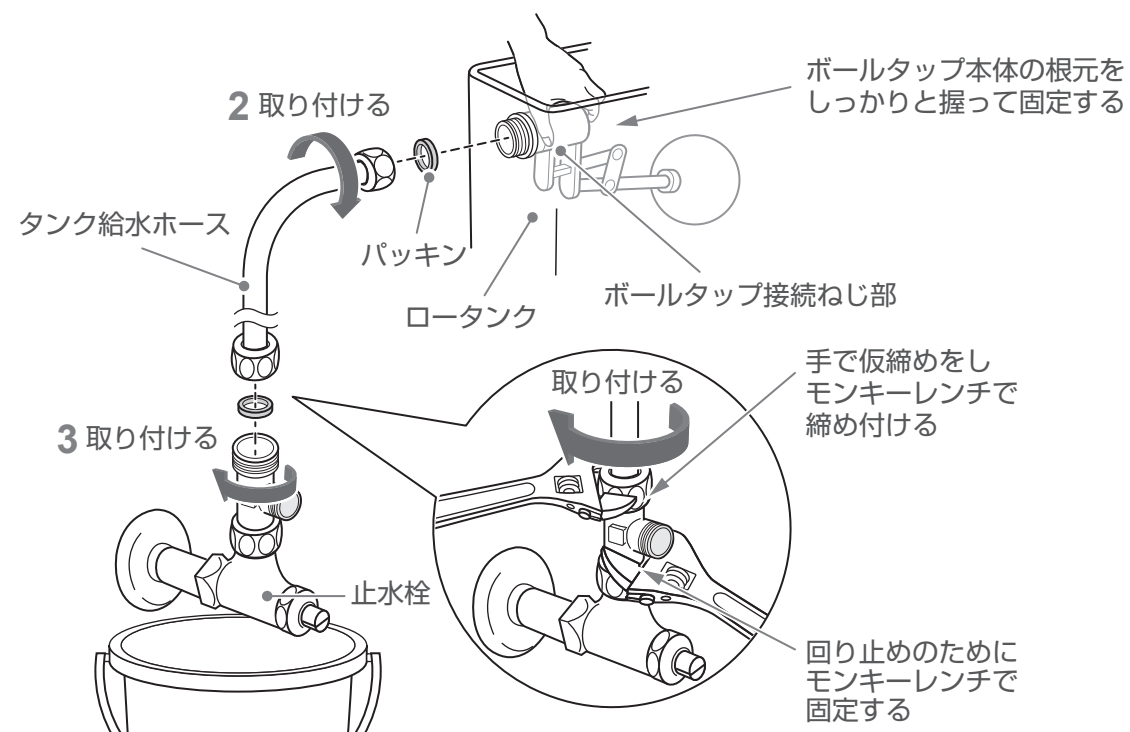
1 分岐金具を止水栓に取り付ける



2 タンク給水ホースをロータンクに取り付ける

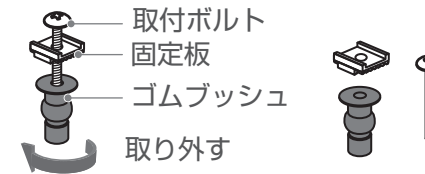
※ボールタップ接続ねじ部は回さないように、内部のボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。

3 タンク給水ホースを分岐金具に取り付ける

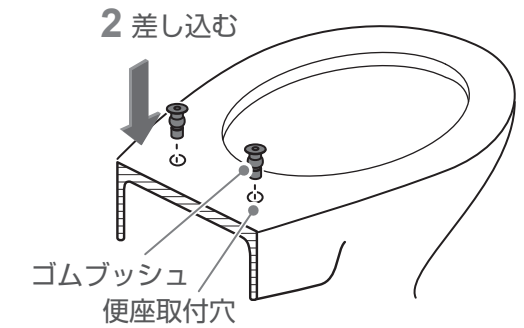


5 本体を取り付ける

1 取付ボルトから固定板・ゴムブッシュを取り外す

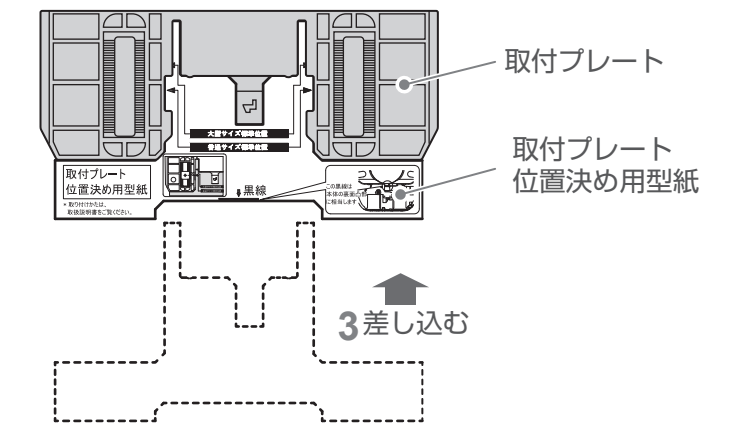


2 差し込む



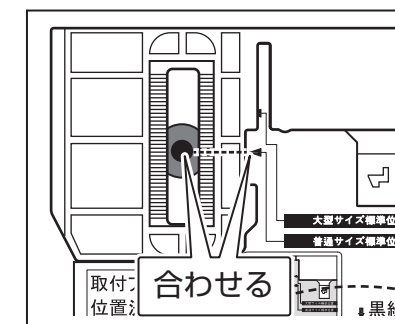
2 便座取付穴にゴムブッシュを取り付ける

3 取付プレート位置決め用型紙を取付プレートに差し込む

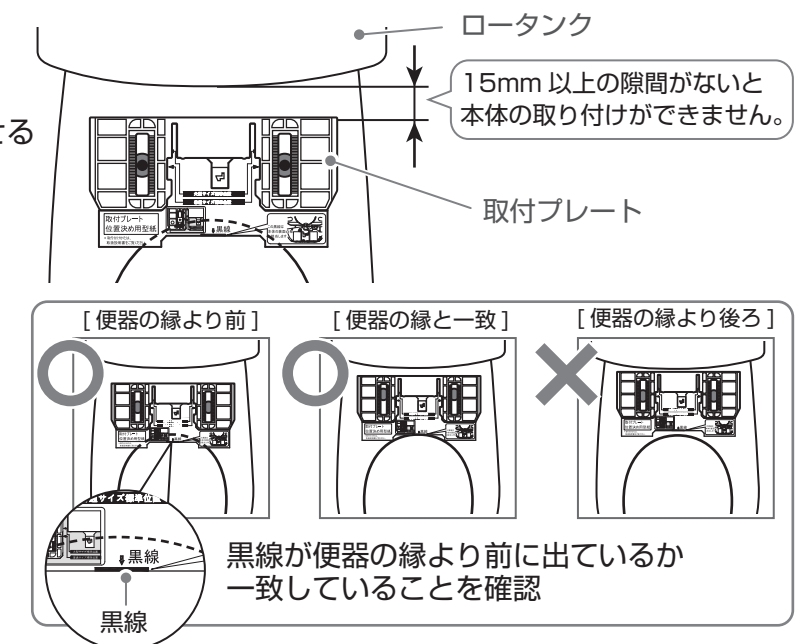


4 取り付け位置を決める

取付プレート位置決め用型紙の
普通サイズ標準位置と
ゴムブッシュの穴の中心を合わせる



※大型サイズの便器の場合は
型紙の**大型サイズ標準位置**に
合わせる

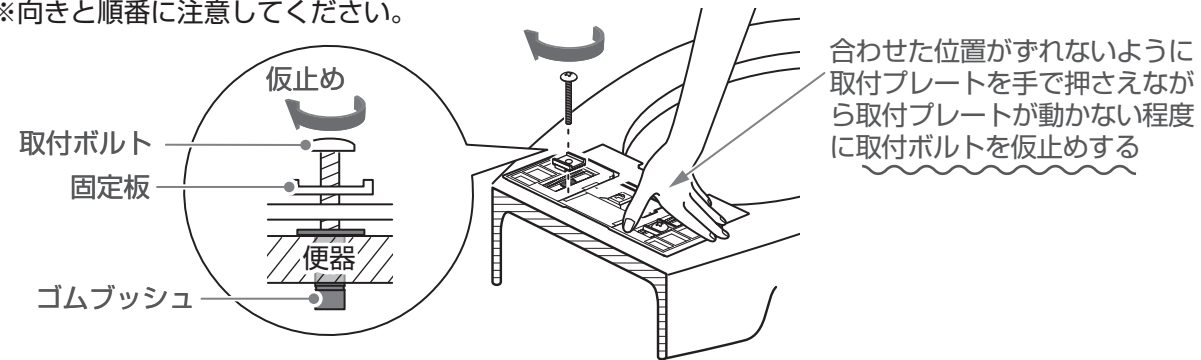


取付方法（施工説明書）

5 本体を取り付ける（つづき）

5 取付プレートを使器に仮止めする

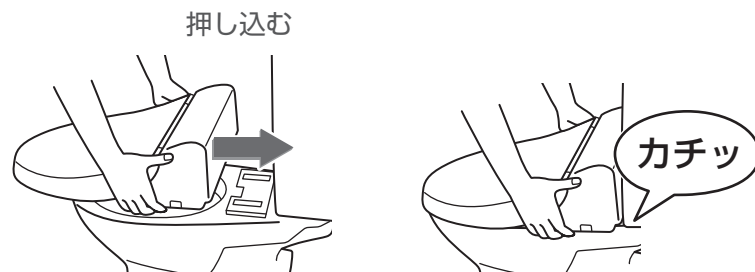
※向きと順番に注意してください。



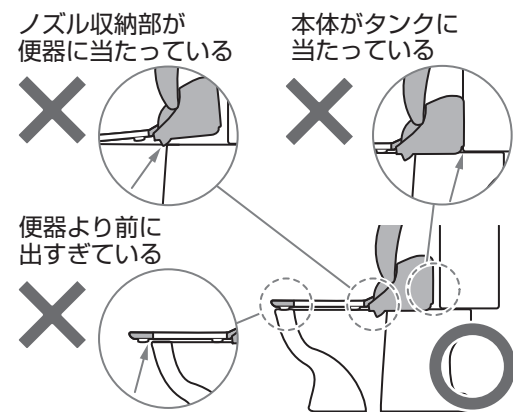
6 取付プレート位置決め用型紙を外す

7 本体をロータンクの方に「カチッ」と音がするまで押し込んで取り付ける

※電源コードを挟まないように注意してください。



下図の場合は、本体を使器から取り外し、取付プレートの位置を再度調整してください。



本体を使器から取り外す場合
本体右側の本体着脱ボタンを押したまま
本体を手前に引いて取り外してください。

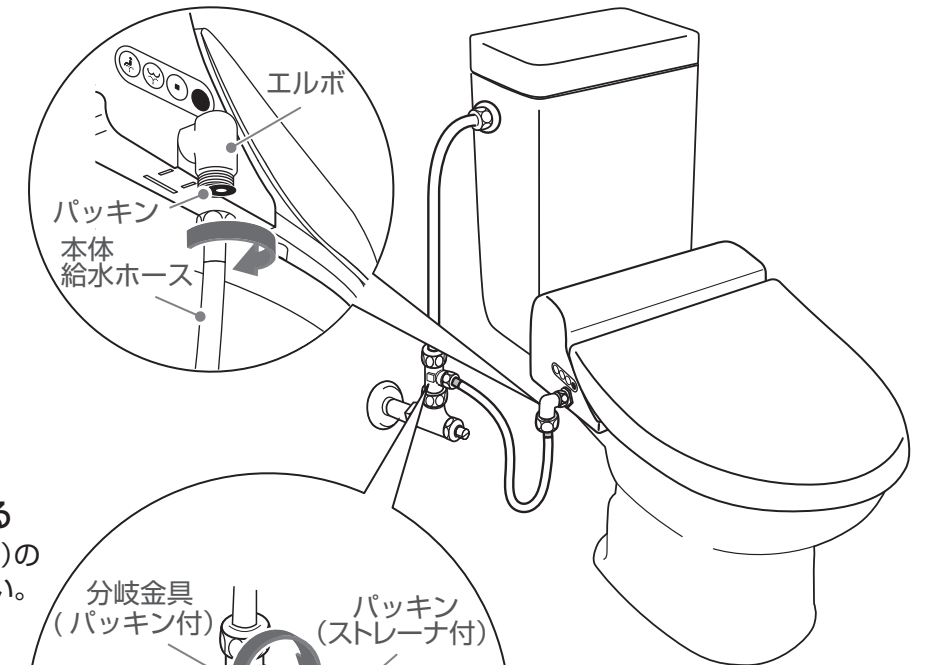


8 ナットを手でしっかり締め付ける

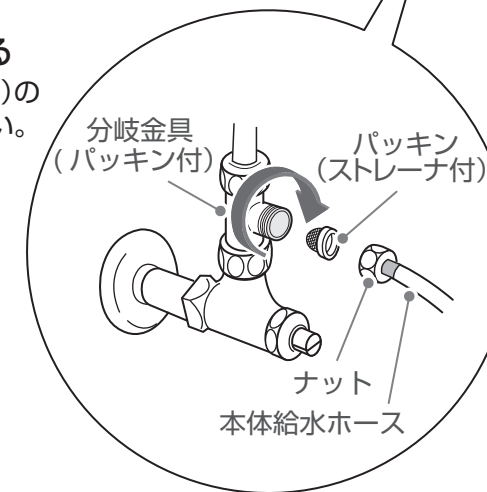
※モンキーレンチなどの工具を使用しないでください。

6 本体給水ホースを取り付ける

1 本体給水ホースをエルボに取り付ける

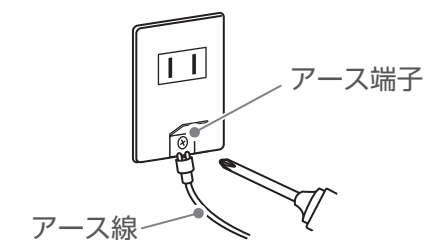


2 本体給水ホースを分岐金具に取り付ける ※パッキン(ストレーナ付)の向きに注意してください。

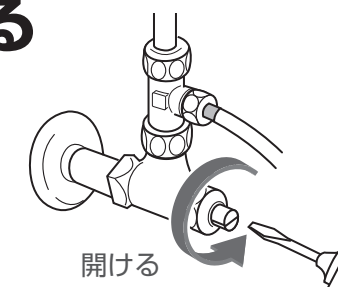


7 アース線の接続

※アース端子がない場合は、電気工事に相談してください。



8 止水栓を開ける

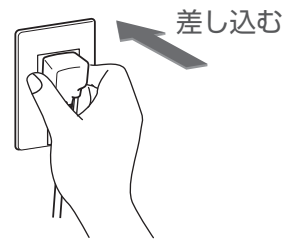


取付方法（施工説明書）

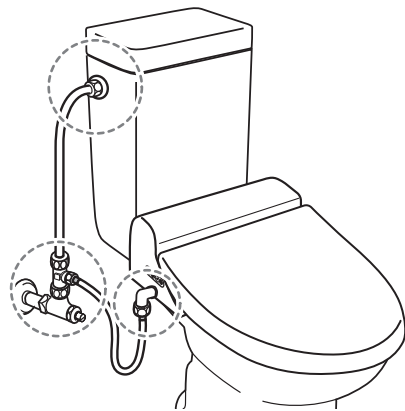
9 電源を入れる（自動給水）

電源プラグを差し込む

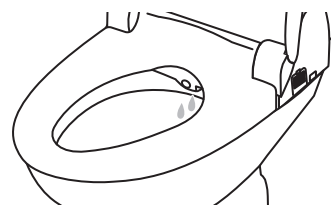
※「ピッピッピッ」と鳴り続け、便座本体への給水が始まり、電源ランプが点灯します。
「ピー」と鳴り、給水が終わります。



10 水漏れの確認



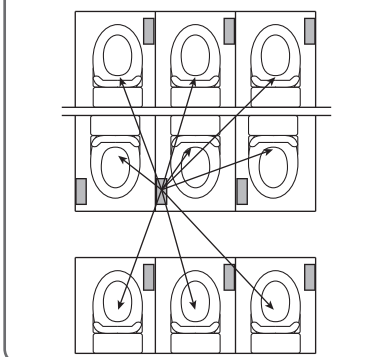
- 水漏れがある場合は、再施工を行ってください。
- ノズル出口付近から漏れる水滴は温水タンク内の蒸気圧またはノズル内の残水によるもので故障ではありません。



11 ID を設定する

隣接して2台以上（左右および前後）設置する場合は、誤作動防止のため、必ずID設定をしてください。→P.17・18
※ 間仕切りやドアの上下に隙間がある場合は、隣接するリモコンからの信号を受けて誤作動（相互干渉）を起こす場合があります。

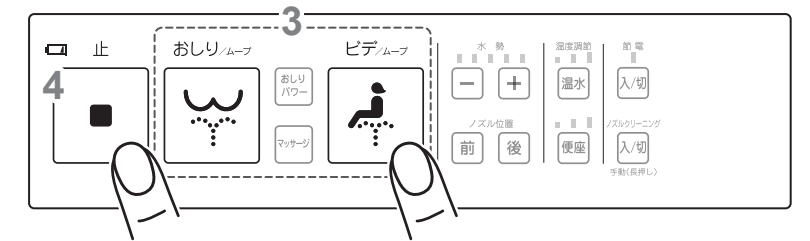
〔誤作動（相互干渉）のイメージ〕



12 試運転

自動給水完了後、7分程度経ってから試運転を行ってください。

- 1 梱包用ビニールを便器と便座の間に挟む
- 2 着座センサーに手を触れる便座が温かいことを確認する自動脱臭が始まるか確認する →P.25
※小さなモーター音がします。
- 3 着座センサーに手を触れながら または を押し、洗淨水が出ることを確認する 梱包用ビニールの上から手を当て、洗淨水が温かいことを確認する



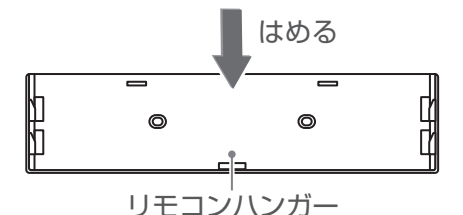
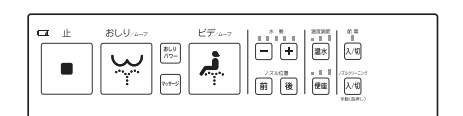
- 4 を押し、梱包用ビニールを外す

セルフクリーニング機能により、おしり・ビデ洗淨前と停止後に水滴が落ちますが異常ではありません。

13 リモコンを取り付ける

リモコンを取り付ける前に、取り付け位置でリモコンが動作するか確認してください。

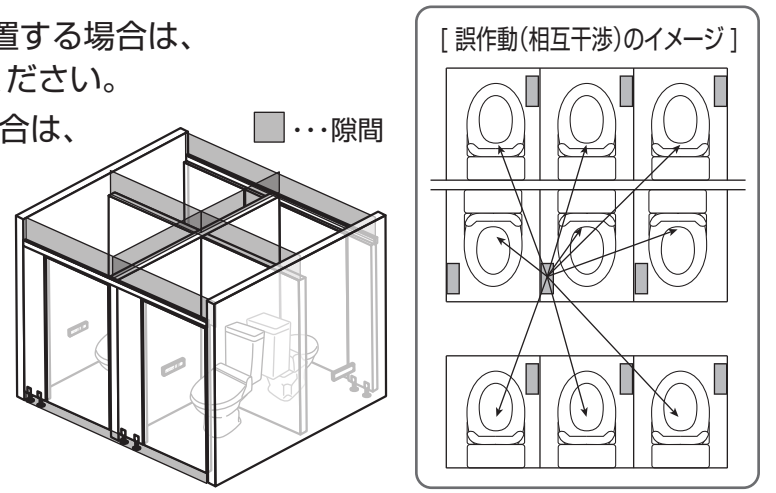
- 1 リモコンハンガーを取り付ける 壁にΦ6の下穴を開ける 石膏ボード・タイル壁の場合はΦ6深さ30mmの下穴を開け、アンカープラグで固定する
- 2 リモコンをリモコンハンガーにはめる
- 3 お好みの設定にする →P.21~24



ID設定

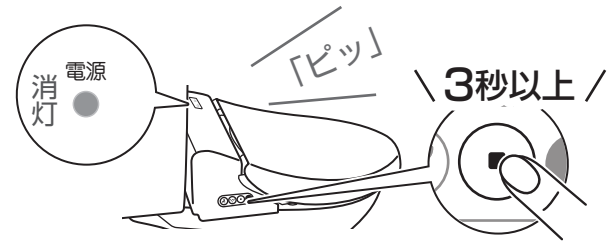
隣接して2台以上（左右および前後）設置する場合は、誤作動防止のため、必ずID設定をしてください。

※ 間仕切りやドアの上下に隙間がある場合は、隣接するリモコンからの信号を受けて誤作動（相互干渉）を起こす場合があります。



1 本体の [電源] を3秒以上長押しし、本体の電源を切る

※ 本体の電源が切れると「ピッ」と音が鳴り、電源ランプが消えます。

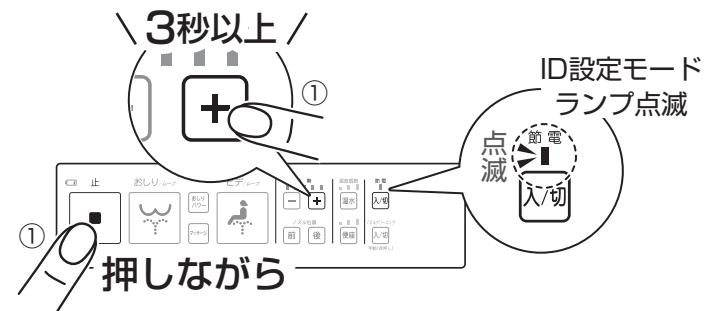


2 リモコンのIDを設定する

① リモコンの [+] を押しながら

[+] を3秒以上長押しする

※ 節電ランプが点滅し、ID設定モードになります。

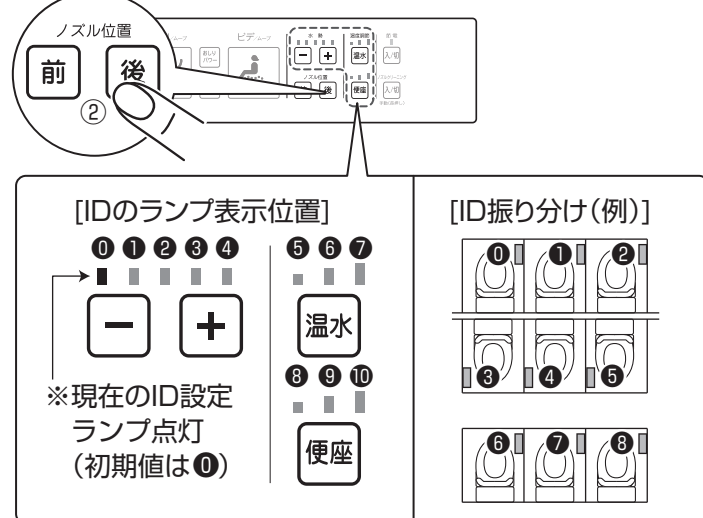


② リモコンの [前] または [後] を押して

ランプの点灯を移動させ、IDを①～⑩に振り分ける

※ 現在設定されているIDの位置が点灯し、ボタンを押すたびにランプが移動します。（初期設定は①に設定されています）

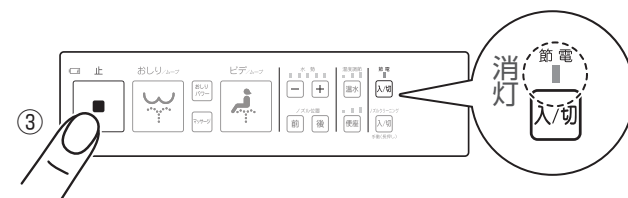
※ 右図の例を参考に、隣接する温水洗浄便座とIDが重ならないように注意してください。



③ リモコンの [停止] を押して、リモコンの

ID設定モードを終了させる

※ リモコンのランプが消えます。



3 本体にリモコンのIDを認識させる(ペアリング)

① 本体の [電源] を3秒以上長押しし、本体の電源を入れる

※ 本体の電源が入ると「ピッ」と音が鳴り、電源ランプが点灯します。

② 3秒以内にリモコンの [停止] を押す

※ 「ピーッ」と音が鳴り、ペアリング完了です。

次のような場合、正常にペアリングができません。本体の電源を切って①の手順からやり直してください。

- ・ 3秒以内にリモコンの [停止] を押さなかった。
- ・ 着座センサーに触れた



基本操作

洗浄する

【こんなときは・・・】

- おしり・ビデ洗浄が使えない
- リモコンのランプが消えている
- 座った時に便座からきしみ音が出る

1.座る

2. 洗浄する

3.止める

4.退室

基本操作

基本操作

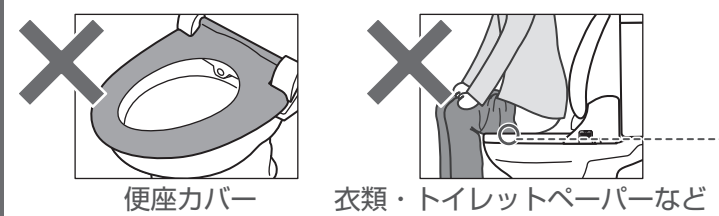
基本操作

座るとおしり洗浄・ビデ洗浄の操作ができます。
(着座センサーに肌が触れている状態)

- 自動脱臭が作動します。

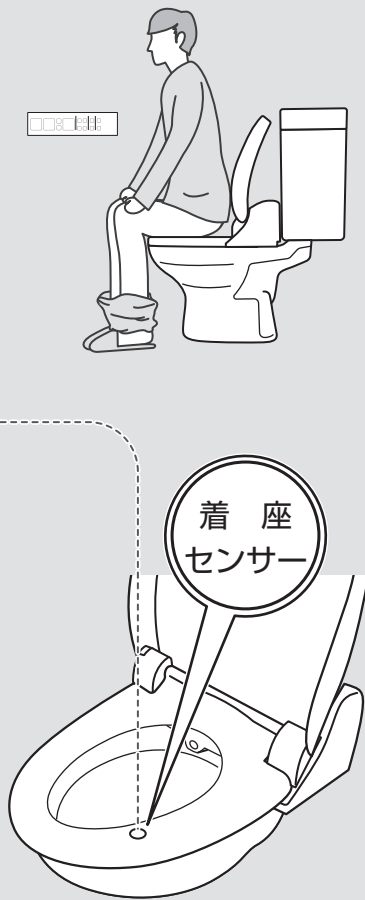
※使用中に着座センサーから肌が離れると操作できません。

便座カバーがついていたり、身体と着座センサーの間に衣類やトイレットペーパーなどが挟まっていると感知しません。



- 座らなくてもできる操作
- ・節電
 - ・ノズルクリーニング

- 節電のため、通常リモコンのランプは消えています。
 - ※ランプが消えていても設定は保持しています。
- 【ランプが点灯しているとき】
- ・おしり/ビデ洗浄中
 - ・ボタンを押した後5秒間



リモコン操作

本体操作

停止

止

ボタンを押すと
おしり・ビデ洗浄を
停止します。

おしり洗浄

おしり/ムーフ

ボタンを押すと
おしり洗浄を
始めます。

●ムーフ洗浄 →P.21

ビデ洗浄

ビデ/ムーフ

ボタンを押すと
ビデ洗浄を
始めます。

●ムーフ洗浄 →P.21

リモコンの電池が切れているときは、本体のボタンでおしり・ビデ洗浄ができます。



- 便器の水を流し、便ふたを閉め、退室してください。

調節

自動機能

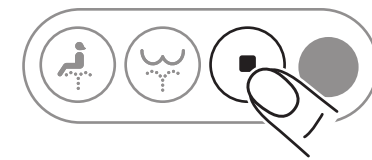
お知らせ

- 便座の温度を調節 →P.23

- 自動脱臭について →P.25

<着座時のきしみ音について>
着座時のきしみ音は、便器の成形段階でできる若干の歪みなどが原因で、便座と便器の間にわずかな隙間ができ発生することがあります。異常ではありません。

<本体の停止ボタンについて>
本体の停止ボタンを3秒以上長押しすると本体の電源が切れますので、注意してください。



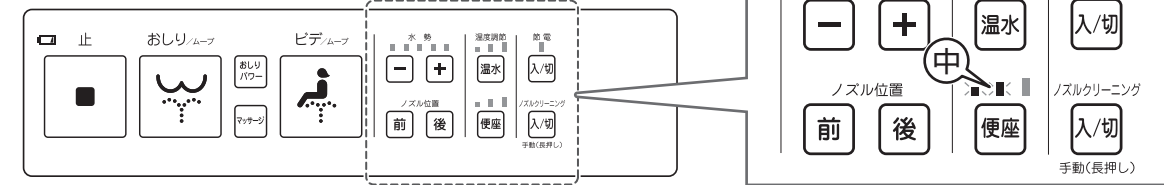
- おしり パワー →P.22
- マッサージ機能 →P.21
- 洗浄の強さを調節 →P.22
- ノズル 位置を調節 →P.22
- 洗浄水温度を調節 →P.23

- セルフクリーニング機能(洗浄前と停止後にノズルを自動で洗浄します。) →P.25
- 長時間洗浄防止のために、約2分後おしり・ビデ洗浄が自動停止します。 →P.4

- 節電モード →P.24

- 立ち上がると約1分後に脱臭が停止します。

<リモコンの電池交換について>
リモコンの電池交換後は、初期設定の状態に戻ります。再度お好みの設定にしてください。



調節する

快適にご利用いただくために

【こんなときは・・・】

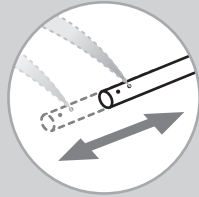
●以前使用していたものより洗浄の勢いが弱い

広範囲を洗浄する

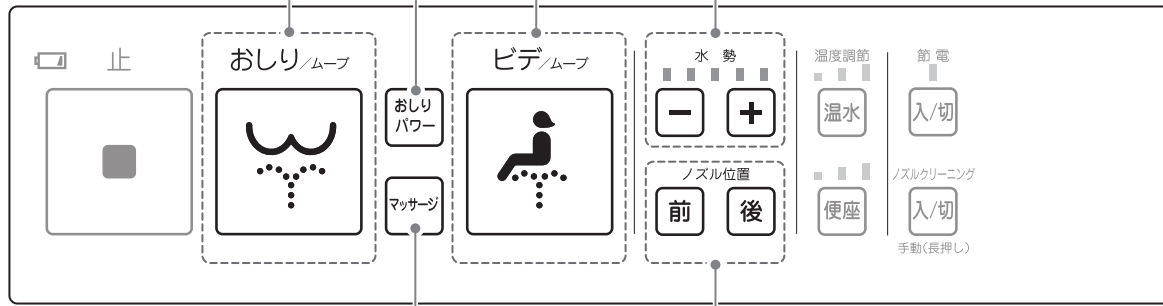
ムーブ洗浄



おしり洗浄中に またはビデ洗浄中に を押し、ムーブ洗浄になり、広範囲を洗浄できます。もう一度押しと戻ります。



ノズルが前後に動き広範囲を洗浄できます。



強弱を繰り返して洗浄する

マッサージ洗浄



おしりまたはビデ洗浄中に を押し、マッサージ洗浄になり、強弱を繰り返して洗浄できます。もう一度押しと戻ります。

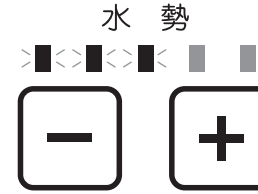
- ムーブ洗浄中に押し、ムーブしながら強弱を繰り返して洗浄します。
- 設定した水勢の強さにより、強弱の幅が変わります。水勢の設定 **→P.22**

強弱の幅	繰り返す ←-----→	繰り返す ←-----→	繰り返す ←-----→	繰り返す ←-----→	マッサージ洗浄ができません
水勢の設定					

強弱を繰り返して洗浄できます。

洗浄の強さを変更する

水勢

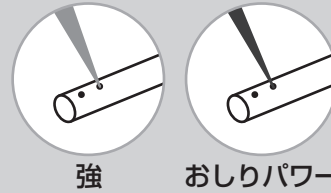


おしりまたはビデ洗浄中に または を押しごとに、洗浄の強さが変わり、お好みの強さに変更できます。
※ランプ表示が切り替わります。

※省エネ基準達成のための設計により、以前の機種に比べて洗浄の勢いが弱く感じる場合や温水が早く冷たくなる場合があります。

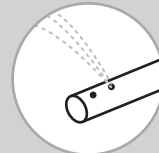


おしりパワー



強

おしりパワー



弱

洗浄の強さを変更できます。

さらに強くしたい「おしりパワー」

おしり洗浄を「強」にしても弱く感じる場合は、 を押ししてください。もう一度押しと戻ります。

- 「おしりパワー」は、おしり洗浄中でなくても使用できます。
- 「おしりパワー」は、ビデ洗浄では使用できません。

- タンク容量は0.7Lのため、おしり洗浄「強」で約50秒程度、おしりパワーで約40秒程度で水が変わります。
※5～7分程度待つと再度温水を使用できます。

ノズルの位置を変更する

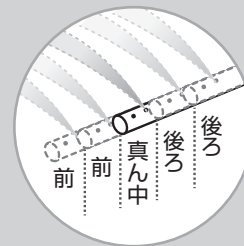
ノズル位置

ノズル位置



おしりまたはビデ洗浄中に または を押し、ノズルの位置が変わり、お好みの位置で洗浄ができます。

- 便座から立ち上がると、初期設定(真ん中)に戻ります。
- 「真ん中」から、「前」に2段階、「後ろ」に2段階、ノズルの位置が変わります。



ノズルが前後に動きお好みの位置で洗浄できます。(5段階)

調節する

調節する

調節する

快適にご利用いただくために

【こんなときは・・・】

- 温水・便座の温度が低い (冷たい)



節電をする 節電

節電
入/切

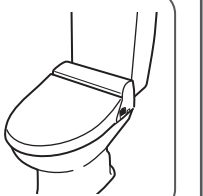
入/切 を押すと、標準モードと節電モードに切り替わります。
※ランプ表示が切り替わります。

	標準モード	節電モード	スーパー節電モード
リモコン	消灯 ↓ 節電 ↓ 入/切	緑 ランプ ↓ 節電 ↓ 入/切	3秒以上同時に長押し 赤 ランプ ↓ 節電 ↓ 入/切 スーパー節電解除 入/切 を押す
本体上面 節電ランプ	消灯 ↓ 節電	緑 ランプ ↓ 節電	赤 ランプ ↓ 節電
座っていないとき	【温度調節】で設定した温度 温度調節 温水	約30℃	常温 ヒーターが入っていない状態です。
座っているとき	温水	便座	「節電モード」や「スーパー節電モード」の場合、冷たく感じる場合があります。 ※「節電モード」または「スーパー節電モード」解除後「設定温度」になるまでは、最長7分ほどかかる場合があります。(室温などにより異なります。)

上手な節電方法

便ふたを閉じる

使用しないときは、便ふたを閉じておくと無駄な放熱を防ぎ節電になります。



洗浄/便座の温度を変更する 温度調節

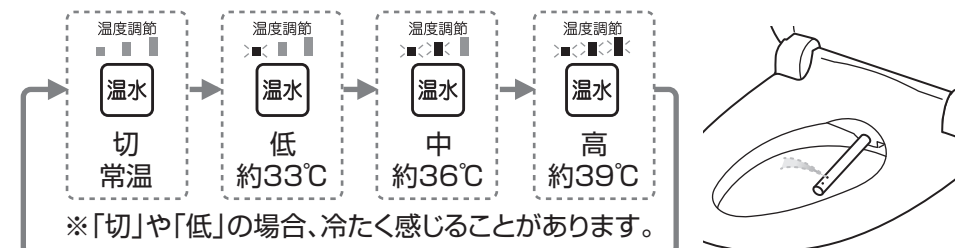
温度調節
温水

便座

洗浄と便座の温度を変更できます。

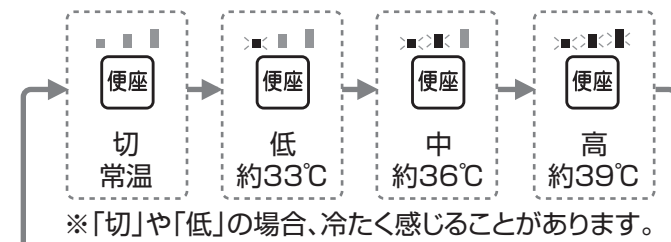
洗浄水温度

温水 を押すごとに、洗浄水温度が変わり、お好みの温度に変更できます。
※ランプ表示が切り替わります。



便座温度

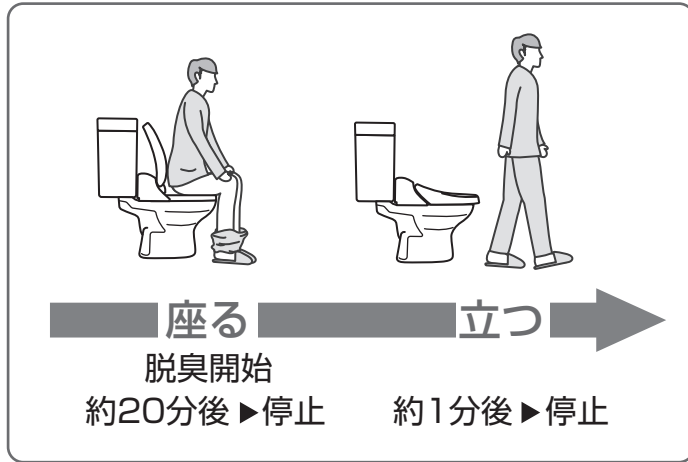
便座 を押すごとに、便座温度が変わり、お好みの温度に変更できます。
※ランプ表示が切り替わります。



その他の機能

自動脱臭機能

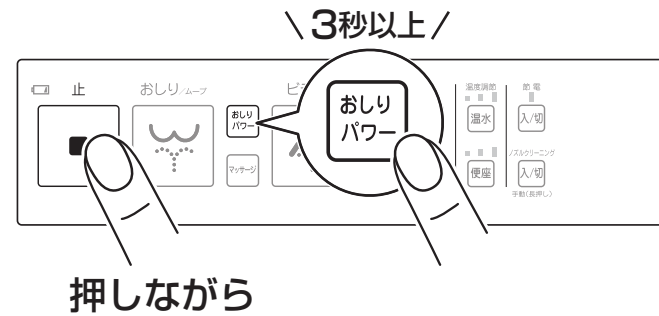
座る（着座センサーに肌が触れる）と脱臭が始まります。
 ※脱臭が始まると脱臭ファンが動く音がします。



自動脱臭機能の入切の方法

着座していない状態で

■ を押しながら おしりパワー を 3秒以上長押しすることで入切できます。



セルフクリーニング機能

いつも清潔に保つために、おしり・ビデ洗浄前と停止後にノズルを自動で洗浄します。

- この水は身体に触れません。
- セルフクリーニング機能により、おしり・ビデ洗浄前と停止後に水滴が落ちますが異常ではありません。

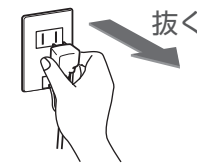


漏電遮断機能

安全のため、漏電を検知すると自動的に電源が切れます。
 ※電源ランプが消灯します。

[漏電検知時ランプ表示]

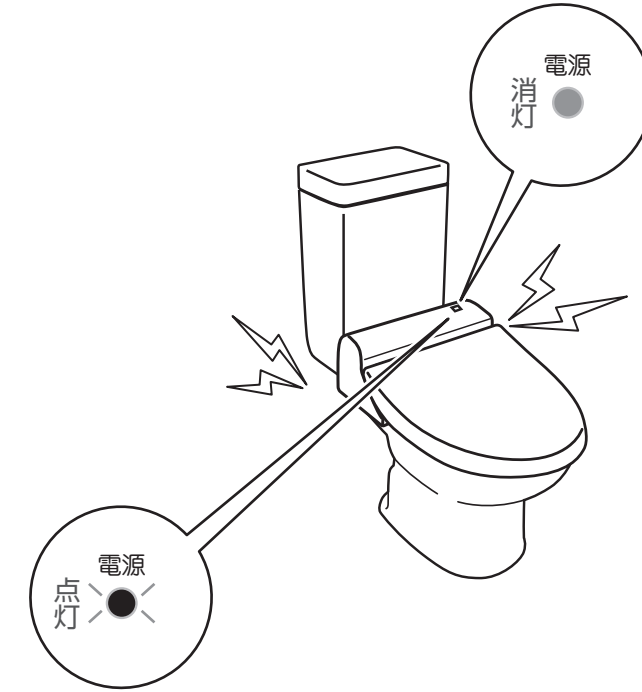
① 電源プラグを抜く



② しばらく時間を置いて再度電源プラグを差し込む



③ 電源ランプの点灯を確認する



復旧しない場合は、販売元に連絡してください。→裏表紙

自己診断機能

本体上面の電源ランプが赤く点滅している場合は製品に異常が発生しています。
 電源プラグを抜き差しすると、復旧する場合があります。

[異常時ランプ表示]

① 電源プラグを抜き、再度差し込む



② 点滅が消えたことを確認する



点滅が続く場合は、販売元に連絡してください。→裏表紙

電池交換の方法

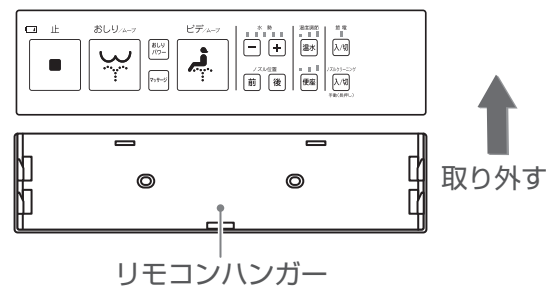
リモコンが正常に動かない場合や
電池切予告ランプが赤く点滅したら
電池を交換してください。

準備するもの
単3形アルカリ乾電池(2個)

電池の液漏れなどを防ぐために、
安全上のご注意を必ずお守りください。→P.2

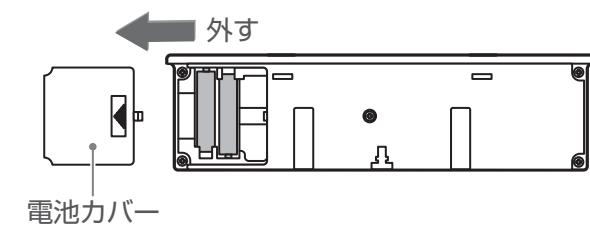


1 リモコンハンガーから リモコンを取り外す

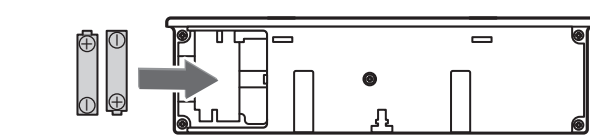


2 電池を交換する

① 電池カバーを外す

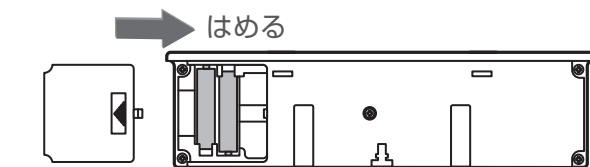


② 電池を交換する

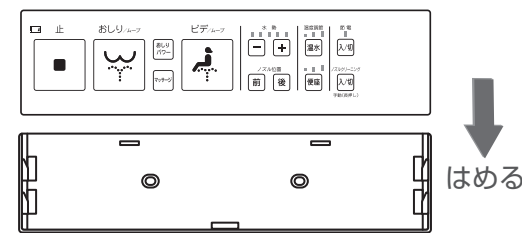


- 電池の向きに注意してください。
- 電池はすべて新しい単3形乾電池に交換してください。

③ 電池カバーをはめる

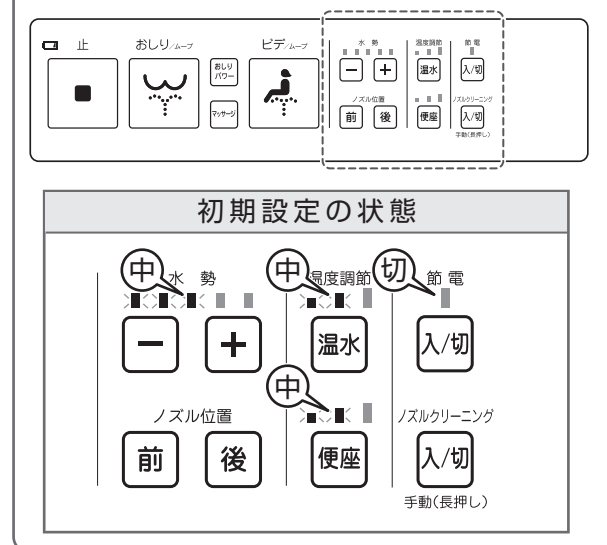


3 リモコンをリモコンハンガーにはめる



4 動作確認をする

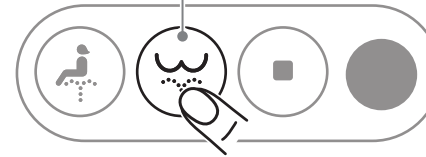
初期設定の状態に戻ります。
お好みの設定にしてください。



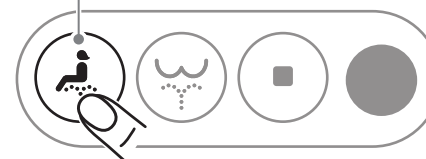
リモコンが使えないときは…

リモコンの電池が切れているときは、本体のボタンでおしり・ビデ洗浄ができます。

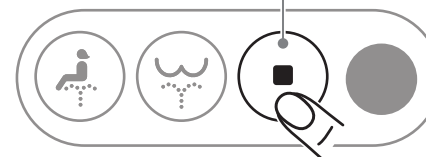
おしり洗浄ボタン



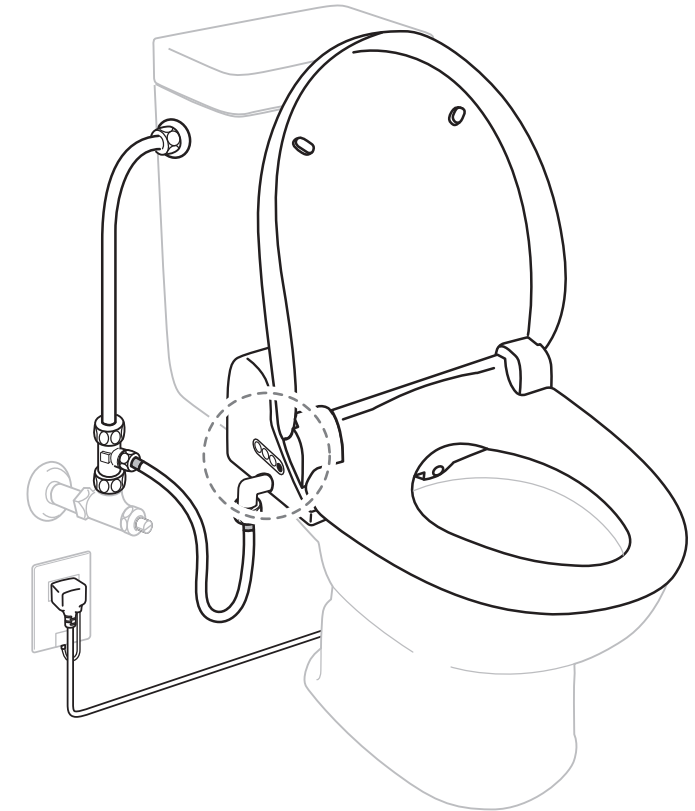
ビデ洗浄ボタン



停止ボタン



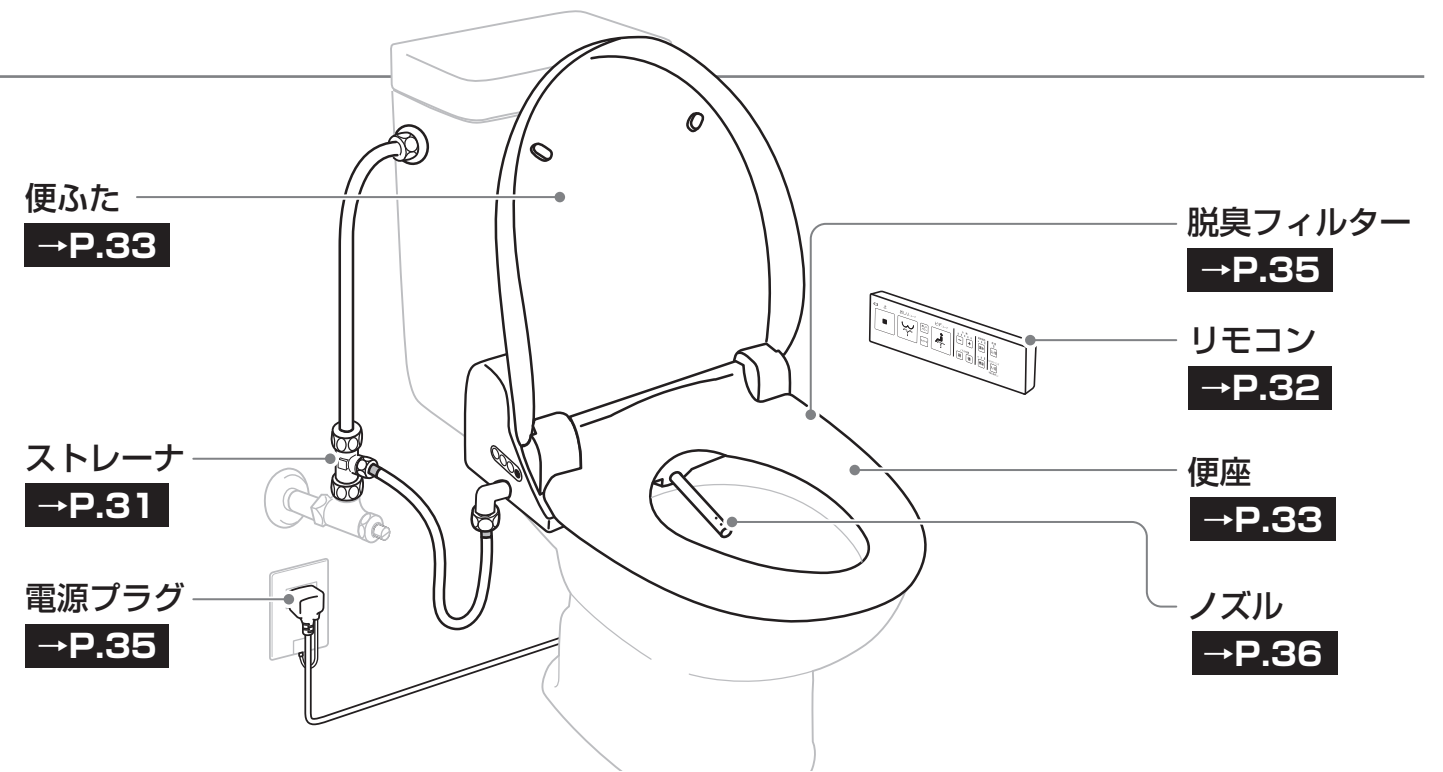
本体の停止ボタンを3秒以上長押しすると
本体の電源が切れますので、注意してください。



お手入れ・掃除の方法

快適に使用するために、日頃から定期的なお手入れをしてください。

気になる汚れ・症状	お手入れ・掃除する箇所	ページ
おしり・ビデ洗浄の勢いが弱くなった	ストレーナ	31
	ノズル	36
便ふたや便座と便器の隙間の汚れが気になる	便ふた	33
	便座	33
ニオイが取れにくい・異臭がする	脱臭フィルター	35
洗浄水が斜めに出るようになった	ノズル	36



お手入れのときに ご注意いただくこと

お手入れ・掃除の方法

安全のため、電源プラグを抜いてください

お手入れの際や本体を立てる時は必ず電源プラグを抜く
(感電・火災・誤作動による故障の原因)

実行する

● ノズルのお手入れの際には、電源プラグは差したままで行ってください。
● お手入れ完了後は、電源プラグの差し忘れに注意してください。

電源プラグの抜き差しは、濡れた手でしない
(感電の原因)

禁止

便座本体や電源プラグに水や洗剤をかけない
(感電・ショートによる火災の原因)

禁止

隙間のお手入れの際には針金などの金属を使用しない
(感電・ショートによる火災の原因)

針金など

[本体裏面]

便座本体内部や、便器との隙間などに水や洗剤が残らないように注意する
(プラスチックを傷めたり、故障の原因)

実行する

お掃除のときは酸性やアルカリ性の洗剤を使用しない
(便座本体や、内部の金属部分などを腐食させたり故障の原因)

酸・アルカリ性洗剤 研磨剤入り洗剤 ベンジンシンナー 業務用洗剤

市販のトイレ用そうじシートの中には適さない商品もあります。

禁止

プラスチック部品には、トイレットペーパーや乾いた布などを使用しない
(キズつきの原因)

トイレットペーパー 乾いた布

便器のお手入れにつきまして

禁止

- お手入れ中は、便座・便ふたは閉じない
- つけ置き洗いはしない

● 便器のお手入れの際に使用される洗剤は、便座本体にかからないように注意してください。

● 便器に残っている洗剤から出る揮発性ガスにより、便座本体内の金属部分を傷めることがあります。

揮発性ガス

[断面図]

短時間(3分程度)で手早くお手入れをしてください。

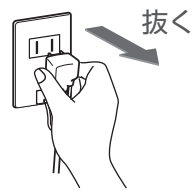
お手入れ・掃除の方法

お手入れ・掃除の方法

便ふたと便座の隙間のお手入れ 週1回のお手入れ

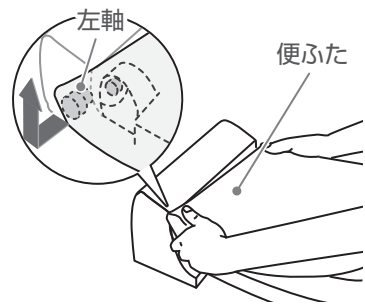
便ふたを取り外してお手入れができます。

1 電源プラグを抜く

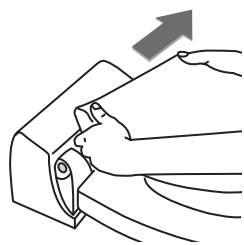


2 便ふたを取り外す

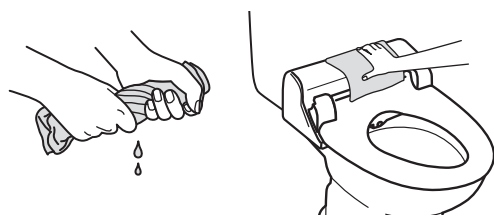
- ① 左側を広げて左軸を外す
※便ふたが少し開いた状態で広げると簡単に外せます。



- ② 右側へ外す

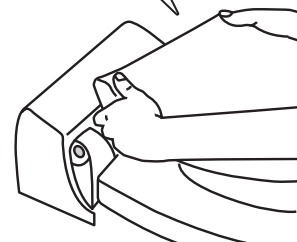
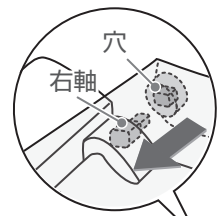


3 柔らかい布を水で濡らし、よく絞って汚れを拭き取る

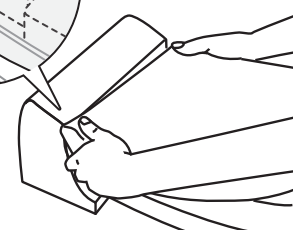
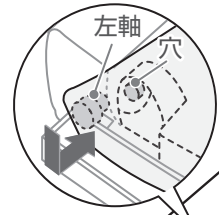


4 便ふたを取り付ける

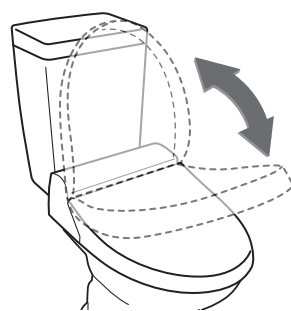
- ① 右軸を穴に差し込む



- ② 左側を広げ左軸を穴に差し込む



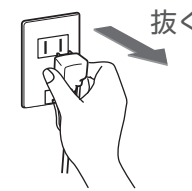
- ③ 開閉がスムーズか確認する



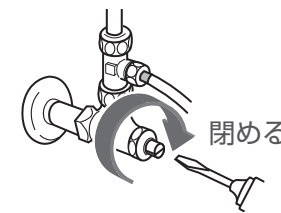
本体(裏面)のお手入れ 週1回のお手入れ

本体を取り外して便器との隙間や本体裏面をお手入れできます。

1 電源プラグを抜く



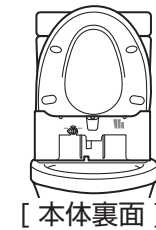
2 止水栓を閉める



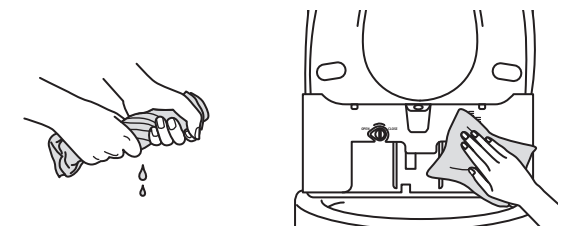
- 3 本体着脱ボタンを押したまま本体を手前に引いて取り外す
※給水ホースなどに無理な力を加えないように注意してください。



4 本体裏面が手前になるようにして立てる



5 柔らかい布を水で濡らし、よく絞って汚れを拭き取る



6 本体を取り付ける



7 止水栓を開ける

